



ネクストステップ研修

応用編 ～繰り返しとブラウザ操作で業務自動化をレベルアップ～

・ 動画でつかわれる資材一覧

- ↳ 参考URL エクセル入力例
- ↳ その他、コマンドについての説明サイト

・ シナリオ概要

- ↳ 今回作成するシナリオ・作成の流れ

・ 使用するコマンドについて

- ↳ A アプリ・画面 / L ウェブブラウザ
- ↳ J エクセル・CSV
- ↳ H 繰り返し / G 分岐 (IF

参考URL（交通費検索サイト）

<https://ekitan.com/>

エクセルへ入力する値

	A	B	C	D
1	氏名	乗車駅	下車駅	金額
2	山田太郎	目白	浦和	
3	佐藤花子	浦安	恵比寿	

エクセル行ループ ※5分10秒～

<https://tayori.com/q/mirarobo/detail/1223220/>

分岐コマンド

<https://tayori.com/q/mirarobo/detail/1223223/>

エクセル_セル値入力コマンド

「複数セル（タブ・改行区切り）」を選択すると、表形式のデータを一括入力できます。

行は「改行キー」、セルは「タブキー」で区切ります。

（スペースではなく、タブキーを押してください）

ここでは、指定セル（例：A1）を起点に、右方向・下方向へ入力されます。

エクセルのセル値を入力

エクセル参照ID 一覧表

入力値

氏名 乗車駅 下車駅 金額
山田太郎 目白 浦和
佐藤花子 浦安 恵比寿

セル数 ☐ 単一セル ☒ 複数セル（タブ・改行区切り）

指定セル A1

メモ 一覧表を作成

【注意】 指定セル欄が未入力の場合は、実行時の選択範囲に適用されます。

キャンセル OK

ミラロボサポートサイトから
ご覧いただけます

どんなシナリオ？

交通費管理表（Excel）に記載された乗車駅・下車駅をもとに、乗り換え検索サイトで料金を自動検索し、Excelの表に転記するシナリオです。

全部で21個のコマンドで構成されています。

動画を参照しながら、一緒に作ってみましょう！

▼ こういった管理表を想定しています

氏名	乗車駅	下車駅	金額
山田太郎	目白	浦和	(自動入力)
佐藤花子	浦安	恵比寿	(自動入力)

使用するコマンドグループ

A アプリ・画面 + L ウェブブラウザ

起動 / 最前画面を覚える・切り替え

HTMLキーボード入力 / HTMLクリック

HTML文字列抽出 / URL移動

J エクセル・CSV

ブックを開く / セル操作＞範囲指定

指定範囲の移動 / 値を取得 / 値を入力

H 繰り返し + G 分岐 (IF)

繰り返し / 繰り返しを抜ける

文字列比較

【 準備 】

- 1 ブラウザ起動**
L : ウェブブラウザ > 起動
- 2 最前画面を覚える**
A : アプリ・画面
- 3 Excelブックを開く**
J : エクセル・CSV > ブックを開く
- 4 一覧表を入力**
J : セル操作 > 値を入力 (A1指定・複数セル)

ここまでを一度実行して、ブラウザとExcel一覧表が開いていれば準備完了



6 ☒ 繰り返し

回数: 無限

7 ☐ エクセル指定範囲の移動 (下へ1つ移動)

📄 エクセル参照ID: 一覧表
移動: 0, 1

8 ☐ エクセルのセル値を取得 (乗車駅を記憶)

📄 エクセル参照ID: 一覧表
指定セル: (表示通りの値) 乗車駅

9 ☒ 文字列比較 (乗車駅が空白だったら繰り返しを抜ける)

文字列①: 乗車駅, 文字列②: , 比較条件: 完全一致

一致した時 (TRUE):

10 ☐ 繰り返しを抜ける

一致しなかった時 (FALSE):

11 ☐ エクセル指定範囲の移動 (1つ右へ移動)

📄 エクセル参照ID: 一覧表
移動: 1, 0

12 ☐ エクセルのセル値を取得 (下車駅を記憶)

📄 エクセル参照ID: 一覧表
指定セル: (表示通りの値) 下車駅

【 繰り返し処理 】

5

繰り返し開始

H : 繰り返し (B1セルをスタート位置に設定)

6

駅名を取得

J : 指定範囲の移動 → セル値を取得 (乗車駅・下車駅)

13	■ 最前画面切り替え (料金検索ページを最前に表示 (確認用))	✕
	ウィンドウ参照ID: 料金検索	
14	■ HTMLキーボード入力 (乗車駅を入力)	✕
	ブラウザ参照ID: 料金検索 HTML要素: xpath HTMLターゲット: /html/body/div[2]/div[3]/div/div[1]/div[... 入力文字: 乗車駅 上書き入力: 有り	
15	■ HTMLキーボード入力 (下車駅を入力)	✕
	ブラウザ参照ID: 料金検索 HTML要素: xpath HTMLターゲット: /html/body/div[2]/div[3]/div/div[1]/div[... 入力文字: 下車駅 上書き入力: 有り	
16	■ HTMLクリック (検索ボタンを押す)	✕
	ブラウザ参照ID: 料金検索 HTML要素: xpath HTMLターゲット: /html/body/div[2]/div[3]/div/div[1]/div[... クリックタイプ: シングル	
17	■ HTML文字列抽出 (一番上の料金を取得)	✕
	ブラウザ参照ID: 料金検索 HTML要素: xpath HTMLターゲット: /html/body/div[1]/div[2]/div/div/div[1]/ ... ドロップダウン全項目取得: 無し	料金
18	■ ブラウザURL移動 (最初のページに戻る)	✕
	ブラウザ参照ID: 料金検索 URL: https://ekitan.com/	
19	■ エクセル指定範囲の移動 (1つ右の入力欄へ移動)	✕
	エクセル参照ID: 一覧表 移動: 1, 0	
20	■ エクセルのセル値を入力 (料金を入力)	✕
	エクセル参照ID: 一覧表 セル数: 単一セル 指定セル:	
21	■ エクセル指定範囲の移動 (乗車駅の列に戻る)	✕
	エクセル参照ID: 一覧表 移動: -2, 0	

【 繰り返し処理 】

7

駅名を入力して検索

L : HTMLキーボード入力 → HTMLクリック (検索ボタン)

8

料金を取得・転記

L : HTML文字列抽出 → J : セル値を入力 (金額欄)

9

繰り返し終了判定

G : 文字列比較 (空白) → H : 繰り返しを抜ける

ブラウザ起動 L > 起動

指定したURLをブラウザで開くコマンド。ブラウザの種類（ミラロボブラウザ・Chrome等）を選択し、ブラウザ参照IDで名前をつけて管理する。

HTMLキーボード入力 L > ページ操作 > HTMLキーボード入力

ページ上の入力欄にテキストを入力するコマンド。調査モードでXPathを取得して対象を指定する。上書き入力はチェックをオンに。入力文字はオレンジボタンでデータ参照IDを選択できる。

HTML文字列抽出 L > ページ操作 > HTML文字列抽出

ページ上に表示されている文字列を取得してデータ参照IDに記憶するコマンド。調査モードで取得したい文字のXPathを設定する。

最前画面を覚える／切り替え A > 最前画面を覚える・切り替え

ブラウザ系コマンドは画面が裏にあっても動作するため、目で確認できるように画面を最前に呼び出すコマンド。「覚える」で登録し「切り替え」で呼び出す。

HTMLクリック L > ページ操作 > HTMLクリック

ページ上のボタンなどをクリックするコマンド。調査モードで対象の青枠を確認してXPathを取得・設定する。メモ欄に「何をクリックするか」を記載しておくと便利。

URL移動 L > URL移動

指定したURLにブラウザを移動するコマンド。繰り返し処理の中で、検索後にトップページへ戻す際に使用する。

ブラウザの操作はすべて「L ウェブブラウザ」グループのコマンドを使います。HTMLコマンドを使うことで、座標や画像認識よりも安定した操作が可能です。

XPath（HTMLターゲット）とは？

Webページを構成するHTML要素を特定する「住所」のようなもの。

「調査モード」ボタンを押してから対象にマウスを合わせ、青枠が出た状態で右クリックすると自動でコピーできます。

基本編で学んだ「値を入力」に加えて、今回は以下のコマンドを使います。

セル操作 > 範囲指定 [J > セル操作 > 範囲指定](#)

Excelの選択セルを指定セルに移動するコマンド。繰り返し処理のスタート位置（B1セル）を設定するために使用する。

セル操作 > 指定範囲の移動 [J > セル操作 > 指定範囲の移動](#)

現在選択しているセルから縦・横方向に移動するコマンド。

下方向は縦に「1」、右方向は横に「1」、左方向は「-1」と指定する。繰り返しの中で行・列を移動しながらデータを取得・入力する際に使用。

セル操作 > 値を取得 [J > セル操作 > 値を取得](#)

現在選択しているセルの値を取得して、データ参照IDに記憶するコマンド。

繰り返しの中では「指定セル」を空欄にすることで、その時点で選択されているセルを自動的に対象にできる。

ポイント：繰り返しの中でコマンドを追加するときは、繰り返しコマンドの小さな「▶」マークをクリックしてから次のコマンドを選んでください。▶をクリックせずに追加すると繰り返しの外に入ってしまいますが、後から繰り返しコマンドの中へ移動も可能です。

「繰り返し」と「分岐」を組み合わせることで、Excelの行数が変わっても自動で対応できる柔軟なシナリオが作れます。

H 繰り返し

繰り返し

指定した処理を繰り返すコマンド。繰り返しタイプは「回数指定」または「無限」から選択。今回は「無限」にして空白セルで自動終了させる。

▶ コマンドの中に入れるには、繰り返しコマンドの小さな「▶」マークをクリックしてから次のコマンドを選ぶ。

繰り返しを抜ける

繰り返し処理を終了させるコマンド。「分岐 (IF)」コマンドで一致したとき (TRUE) や、不一致のとき (FALSE) の中に入れ込んで使う。指定する条件を満たしたタイミングで繰り返しを止めることができる。

■ TRUE / FALSE とは？

TRUE (条件と一致した)

→ 設定した処理を実行 (今回は「繰り返しを抜ける」)

FALSE (条件と一致しなかった)

→ 何も設定しない = 次のコマンドへ進む

G 分岐 (IF)

文字列比較

取得したデータ参照IDの値と指定した文字列を比較して、一致 (TRUE) または不一致 (FALSE) に処理を分けるコマンド。ExcelのIF関数と同じ考え方。

今回は「乗車駅 (データ参照ID)」と「空欄」を完全一致で比較し、一致したとき (TRUE) に「繰り返しを抜ける」を設定する。

「無限ループ + 空白で抜ける」の仕組み

繰り返し (無限)

① 駅名取得 → ② 検索 → ③ 料金転記

④ 文字列比較: 乗車駅 = 空欄？

TRUE → 繰り返しを抜ける ✓ FALSE → ①に戻る

マニュアル・操作動画・サポートセンターはこちら

<https://support.mirarobo.com/>

わからないことはサポートセンターへお気軽にご質問ください。
自動化したい処理に合ったサンプルシナリオをお渡しします。